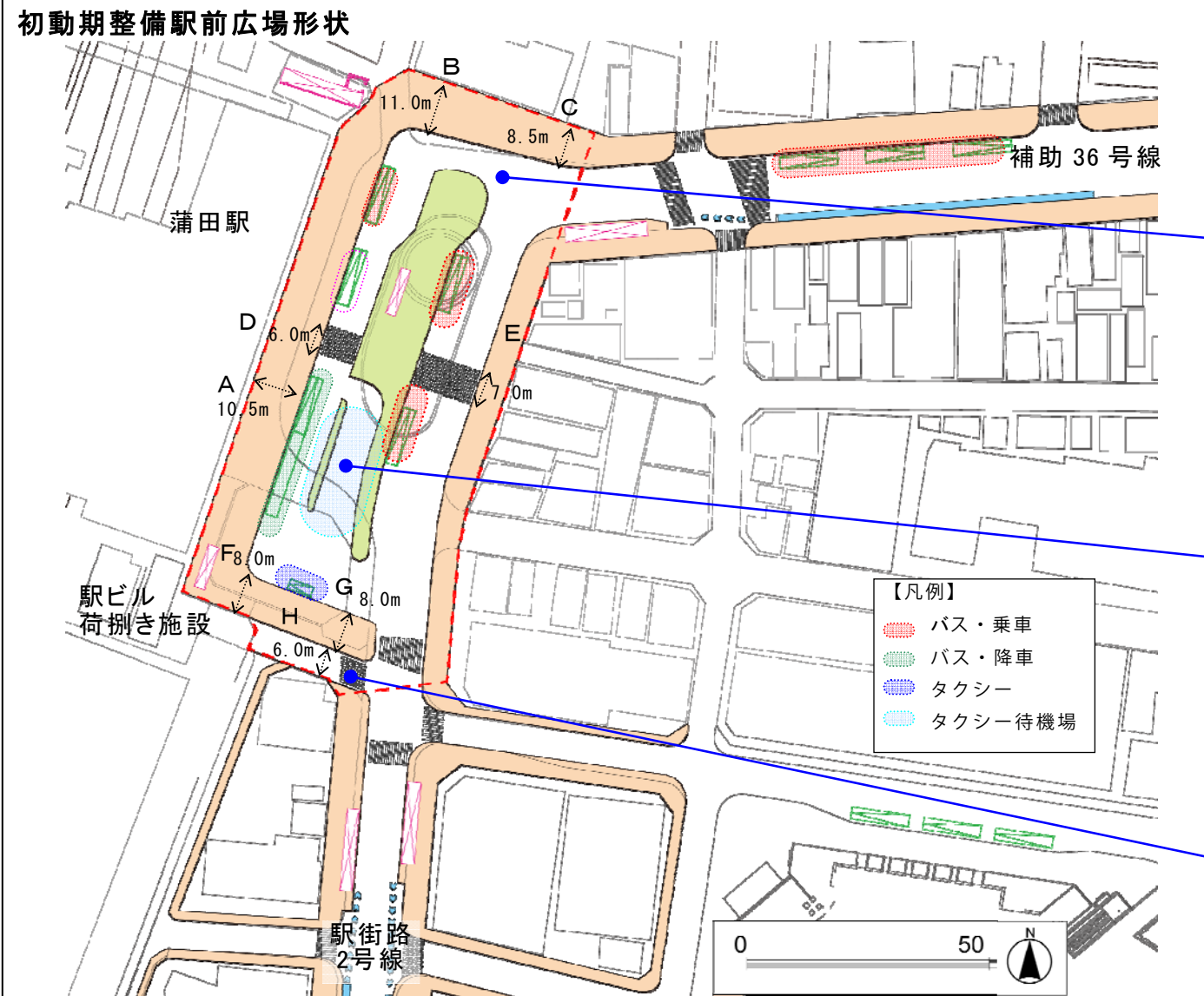



東口駅前広場初動期整備計画 平成 25 年度のまとめ




初動期駅前広場整備における関係機関調整事項


【広場北側車両合流部の安全確保】
 ・広場内からのシャトルバス、タクシー等の環状 8 号方面右折時の安全確保
 ⇒補助 36 号線、駅前広場横断歩道の信号調整による広場内滞留車両の解消



【集中するタクシー待機車両の対策】
 ・広場内待機場で対応できない車両について、駅街路 2 号線待機列の解消を含めた対策
 ⇒隔地（区有地等）での待機場の確保、タクシー待機ルールによる対応



【駅街路 2 号線の荷捌き車両と歩行者交錯部の改善】
 ・歩行者安全確保について、関係機関協議の中で歩行者信号設置の指示があったが、赤信号での歩行者横断が想定されるため、信号設置の可否を検証
 ⇒ ・その他の安全方策の検討
 ・区役所前面道路を搬入動線にした一方通行化、駅街路 2 号線搬入車両流出に対する歩行者の安全確保



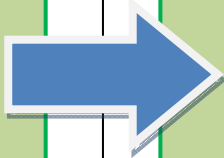
関係機関と調整中

初動期整備の概要

【歩行者環境】
 ◆歩行者交通量、交通施設の配置を踏まえて、歩行者空間を拡張・調整

【交通広場機能】
 ◆補助 36 号線のバス乗車場の一部及びバス降車場を配置（乗車場 4 箇所（シャトルバス含む）、降車場 2 箇所）
 ◆駅街路 2 号線から補助 36 号線方向の通過交通の分離
 ◆交通島を活用したタクシー待機場の設置でバス降車場スペースを確保（待機場台数 9 台程度）

【自転車走行環境】
 ◆補助 36 号線南側に自転車走行レーンを設置
 ◆駅街路 2 号線両側に自転車走行レーンを設置



中・長期整備の方向性

- ◆駅前広場上空利用による歩行者空間確保
 ペDESTリアンデッキ等設置によるバス利用利便性の向上、自動車動線交錯の解消
- ◆新空港線整備事業用地を活用した交通施設の再配置
 広場面積拡張によるバス乗車・降車場の集約、タクシー乗り場、待機場の拡幅
- ◆駅ビル建替えと連携した歩行者動線改善、交通機能の向上
 駅ビル建替えに合わせた自由通路と駅前広場等歩行者動線の改善

※広場形状案は平成 26 年 2 月現在のものです。今後地元関係者、関係機関等と協議し形状を決めていきます。